

予備審査請求は管轄国際予備審査機関へ直接行わなければならない。 2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。

特許協力条約に基づく国際出願 国際予備審査請求書

章 Π

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求し、 選択資格のある全ての国を選択する。ただし、特段の表示がある場合を除く。

	国際予備審查	機與記入欄		
· 国際予備審査機関の確認		請求書の受理の日		
		W. T		
第 I 欄 国際出願の表示			出願人又は代理人の書類記号 903005PCT	
国際出願番号	国際出願日 (日. 月. 年)	··	優先日(最先のもの) (日. 月. 年)	
PCT/JP03/08436	03.07.03		09.07.02	
	03.07.03		09.07.02	
発明の名称		•		
排ガス浄化用触媒			·	
第11欄 出願人				
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載;法人	は公式の完全な名称を記載	;あて名は郵便番号及び国	電話番号:	
名も記載)				
ダイハツ工業株式会社			ファクシミリ番号:	
DAIHATSU MOTOR CO., LTD.			加入電信番号:	
〒563-8651 日本国大阪府池田i		1号		
1-1, Daihatsucho, Ikeda-shi, Osa Japan	ika 563-8657	٠,	出願人登録番号:	
	-			
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN		^{住所(国名):} 日本[国 JAPAN	
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載;法人	は公式の完全な名称を記載	哉;あて名は郵便番号及び国]名も記載)	
田中 裕久 TANAKA Hiroh	isa			
〒520-2593 日本国滋賀県蒲	生郡竜王町大字	山之上3000~	昏地	
ダイハツ工業株式会社 滋賀ラ				
c/o SHIGA TECHNICAL CENT				
3000, Oaza Yamanoue, Ryuo-	cho, Gamo-gun	, Shiga 520-2593	3	
Japan				
国籍(国名): 日本国 JAPAN		^{住所(国名):} 日本[国 JAPAN	
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載;法人	、は公式の完全な名称を記載	は;あて名は郵便番号及び国	名も記載)	
丹功 TAN Isao				
〒520-2593 日本国滋賀県蒲	生郡竜王町大字	山之上3000	番地	
ダイハツ工業株式会社 滋賀テクニカルセンター内				
c/o SHIGA TECHNICAL CENTER of DAIHATSU MOTOR CO., LTD.				
3000, Oaza Yamanoue, Ryuo-cho, Gamo-gun, Shiga 520-2593				
Japan				
国籍(国名): 日本国 IADAN		住所(国名): 口 🛧 🖪	=	
国籍(國名):日本国 JAPAN		日本[国 JAPAN	
✔ その他の出願人が続葉に記載されている。				

压	際	出	願	番	号

2 ,

PCT/JP03/08436

	<u>8</u>
第1欄の続き 出願人	
この第1個の続きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求書に含め	
氏名 (名称) 及びあて名:(姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記 上西 真里 UENISHI Mari 〒520-2593 日本国滋賀県蒲生郡竜王町大字 ダイハツ工業株式会社 滋賀テクニカルセン c/o SHIGA TECHNICAL CENTER of DAIHAT 3000, Oaza Yamanoue, Ryuo-cho, Gamo-gui Japan	『山之上3000番地 ター内 「SU MOTOR CO., LTD.
国籍(国名):日本国 JAPAN	^{住所(国名):} 日本国 JAPAN
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記	載;あて名は郵便番号及び国名も記載)
〒520-2593 日本国滋賀県蒲生郡竜王町大字 ダイハツ工業株式会社 滋賀テクニカルセン c/o SHIGA TECHNICAL CENTER of DAIHAT 3000, Oaza Yamanoue, Ryuo-cho, Gamo-gui Japan	ター内 SU MOTOR CO., LTD.
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN	^{住所(国名):} 日本国,JAPAN
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記 谷口 昌司 TANIGUCHI Masashi 〒520-2593 日本国滋賀県蒲生郡竜王町大字 ダイハツ工業株式会社 滋賀テクニカルセン・ c/o SHIGA TECHNICAL CENTER of DAIHAT! 3000, Oaza Yamanoue, Ryuo-cho, Gamo-gun Japan	山之上3000番地 ター内 SU MOTOR CO., LTD.
^{国籍(图名)} 日本国 JAPAN	^{住所(図名):} 日本国 JAPAN
氏名(名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記 「国籍(国名):	載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 住所(国名):
その他の出願人が他の絞葉に記載されている。	

国	祭出	番飆	鲟

第Ⅲ欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名			
下記に記載された者は、			
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び医 名も記載)	1 電話番号: 06-4706-1366		
10351 弁理士 岡本寛之 OKAMOTO Hiroyuki 〒541-0048 日本国大阪府大阪市中央区瓦町四丁目8番5号 瓦町	ファクシミリ番号: 06-4706-1388		
NKビル Kawaramachi NK Building,	加入電信番号:		
8-5, Kawaramachi 4-chome, Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka 541-0048			
Japan	出願人登録番号:		
通知のためのあて名: 代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上配枠内に特に通知が送付されるあて名を記載して	いる場合は、レ印を付す。		
第IV欄 国際予備審査に対する基本事項			
#正に関する記述:* 1. 出頭人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。 □ 明細書に関して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。 □ 請求の範囲に関して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正(添付した説明書も含む)を基礎とすること。 □ 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。 □ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。 □ 日間に関して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 日間に関して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 日間に関して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 日間に関して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 日間に対してなされた補正を基礎とすること。 □ 日間に関して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 日間に対して □ 出願時のものを基礎とすること。 □ 日間に対して □ 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。 □ 出願人は、国際予備審査機関が、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。 □ 規定に基づき行われた補正書の写しの受領、又は当該補正を希望しない旨の出願人からの通知を受領した場合を除く(規則69.1(d))。) □ にの口は、特許協力条約第19条の規定に基づく期間が満了していない場合にのみ、レ印を付すことができる。)。 * * 記入がない場合は、1) 補正がないか又は国際予備審査機関が補正(原本又は写し)を受領していないときは、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、			
2)国際予備審査機関が、見解書又は予備審査報告書の作成開始前に補正(原本又は写し)を受領したときは、これらの補正を考慮して予備審査が開始又は続行される。			
国際予備審査を行うための言語はであり、			
▶ 国際出願の提出時の言語である。			
国際調査のために提出した翻訳文の言語である。			
国際出願の公開の言語である。			
国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。			
第V欄 国の選択			
出願人は、選択資格のある全ての指定国(即ち、既に出願人によって指定されており、かつ特許協力条約第Ⅱ章に拘束されている国)を選択する。 ただし、出願人は次の国の選択を希望しない。:			

9

刘際	出願番号	

4 2

PCT/JP03/08436

第VI欄 照合欄			
この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IV欄に記載する言語による 下記の書類が添付されている。	国際予備審査機関 記入欄 安 領 未 受 領		
1. 国際出願の翻訳文			
6. その他 (書類名を具体的に記載): 枚			
1.	とな形式による配列表 とな形式による配列表に関連する表		
国際予備審査請求書の実際の受理の日			
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
3. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理。 出願人に通知した。 出願人に通知した。			
4. 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内の国際予備審査請求書の受理			
5. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。			
国際事務局記入欄			